

出版印刷メディア系専門職大学院の設立を

国際印刷大学校長・九州産業大学名誉教授

工学博士 木下 堯博



日本印刷新聞5000号発刊記念おめでとうございます。今後も益々のご発展を祈念いたします。本報告は高等教育特に大学院教育と出版印刷産業とのかわりに関しまとめた。

IPEX2006でLondon College of Printing (LCP) \ Leeds College of Technologyの二つの大学が出展していた。いずれも印刷メディアの課程を有していて、イギリスの印刷界に多くの優秀な人材を供給している。LCPの大学名が2004年のdrupaのあとLondon College of Communication (LCC)と名称が変更され、デザインや映像などの課程が増設された。

drupa2004ではドイツのブッパータール大学が中心となり、ヨーロッパの印刷系16大学の大学院のカリキュラムや研究内容の情報交流会のとき、韓国のソウル市にある東国大学校産業大学院印刷画像専攻修士課程の話題が出された。

2006年4月に板門店近くにあるパジュ市のBook Cityの視察を兼ね同大学院を表敬訪問した。本年度で創立100周年を迎えたキャンパスは学生の活動など活気に溢れていた。印刷画像専攻は印刷及び関連企業に勤務している従業員を対象とし、また、ソウル地区の印刷産業界の活性化のために設立された夜間2年半のコースであり、博士論文の審査も行う。同大学校の洪起三総長は印刷産業界の発展のため貢献するとの目標を持っていて、韓国の印刷産業界の将来は明るい。

日本では印刷学部の新設要望が東京都に提出されたが認められなかった。日韓の印刷学術・文化に対する温度差があるのが残念である。

2003年に専門職大学院の設置基準が定められ、各大学および株式会社専門分野の実務と理論を教育し、各分野の高度の専門性を有する優秀な人材育成に少子化時代などに対応すべく申請し、認可されてきた。大学院は博士課程、修士課程、専門職学位課程との3種類となり、専門職学位課程では特定分野の高度専門職人材の育成を目標としている。2005年現在15,000名(全体の

6%)の院生が在籍している。

世界の各都市ロンドン、シカゴ、ベルリン、コペンハーゲン、北京、バンコク、ソウル、台北など出版印刷産業が集中している都市には印刷系の専門大学及び大学院が設置されている。

出版印刷と関連メディアは知識基盤社会がグローバル化し、国際競争力が進展すると共に新しい知の創造と活用が求められ先見性と創造性を有する理論と実学とを備えた人材育成を目的とする専門職大学院が必要である。

東京都は出版印刷業が出荷額第1位であり、2004年の印刷・同関連の出荷額は1兆7500億円となり、東京都全体の製品出荷額の15.6%にのぼる。

アメリカの大学が韓国や中国に進出し、いわゆるFDI(Foreign Direct Investment)が電子、物流、家電などと同じレベルで教育界にも席卷している。世界的視野から出版や印刷およびデジタルメディア分野の高等教育機関の空白都市が東京都かもしれない。

日本の出版・印刷の産業界が協力し、出版印刷メディア系の専門職大学院の誕生を目指し、同産業界の発展及び生き残りのため、この大学院の設立を推進させることが必要であろう。

www.media-line.or.jp/igu

(日本印刷新聞5000号記念号8月6日発行原稿)

「2006年7月20日 投稿」

〒811-4163

福岡県宗像市自由ヶ丘10-10-8

kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp

国際印刷大学校事務局〒189-0002

東京都東村山市青葉町2-29-12

Tel 042-395-5561

Fax 042-392-8216

携帯 070-5694-0174

<http://www.media-line.or.jp/igu>

E-mail; kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp
